



どうする？家康ゆかりの地、行ってみる？

～2023年 NHK大河ドラマは「どうする家康」！～

浜松城 (浜松市中区)

徳川家康は、武田信玄の侵攻に備え、元亀元年(1570年)浜松城を築城し、29歳から45歳までの17年間、浜松城を居城として過ごしました。この17年間は、姉川の合戦、三方ヶ原の合戦、長篠の合戦、小牧・長久手の戦いなど激戦を繰り広げた時期でもあり、天下を獲る前の家康にとって試練の時だったかもしれません。家康が駿府城に移った後の歴代の浜松城主の中には、徳川幕府の要職に登用された者も多いことから、「出世城」とも呼ばれています。天守台の石積みは、創建当時の姿をよく残しているとされ、復元された天守内では、甲冑やジオラマ等様々な展示があるほか、最上階からは、晴れた日には東には富士山、西には浜名湖が見えます。浜松城から、家康の軌跡を追ってみませんか？

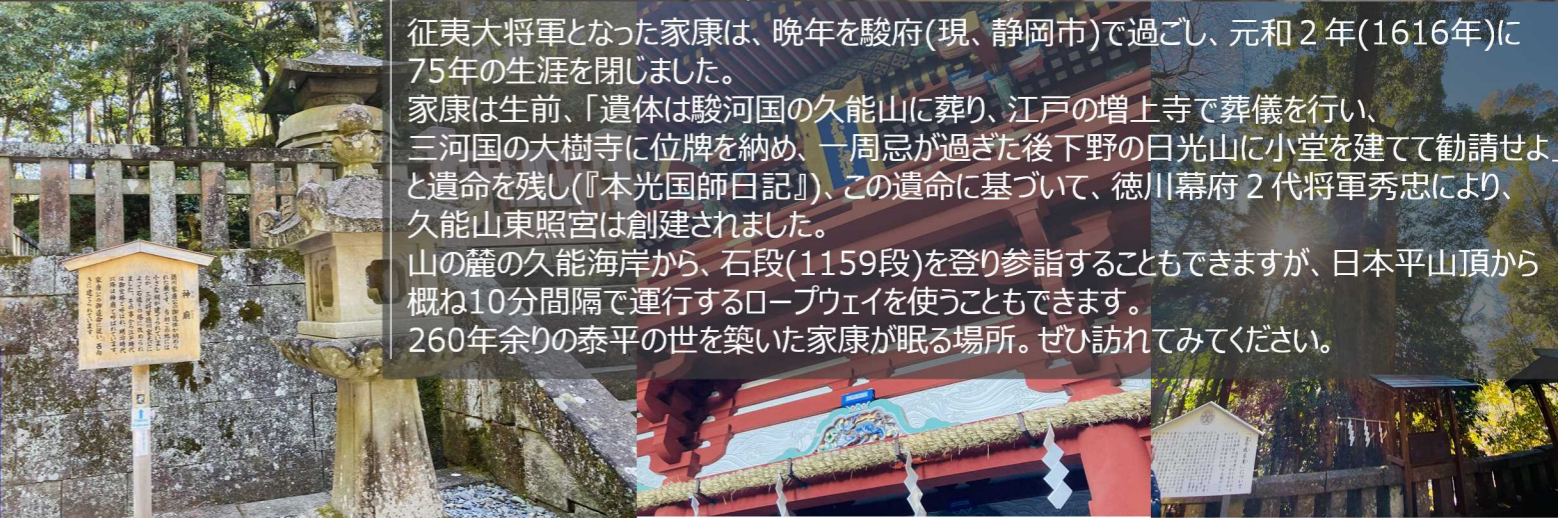


青年期を過ごした、浜松。晩年を過ごし、今も眠る、静岡。



久能山東照宮 (静岡市駿河区)

征夷大將軍となった家康は、晩年を駿府(現、静岡市)で過ごし、元和2年(1616年)に75年の生涯を閉じました。家康は生前、「遺体は駿河国の久能山に葬り、江戸の増上寺で葬儀を行い、三河国の大樹寺に位牌を納め、一周忌が過ぎた後下野の日光山に小堂を建てて勸請せよ」と遺命を残し(『本光国師日記』)、この遺命に基づいて、徳川幕府2代將軍秀忠により、久能山東照宮は創建されました。山の麓の久能海岸から、石段(1159段)を登り参詣することもできますが、日本平山頂から概ね10分間隔で運行するロープウェイを使うこともできます。260年余りの泰平の世を築いた家康が眠る場所。ぜひ訪れてみてください。



大河ドラマ館・歴史博物館等

○どうする家康 浜松 大河ドラマ館
 開館情報 : プレオープン2023年1月22日(日)～2月28日(火) グランドオープン2023年3月18日(土)
 展示内容 : ドラマに登場する衣装や小道具、出演者のパネル展示 等
 アクセス等 : 浜松市中区元城町102-1 (浜松駅から遠鉄バス利用または徒歩)
 ホームページ : 「どうする家康大河ドラマ館」特設サイト
 (URL : <https://hamamatsu-ieyasu.com/doramakan/>) →



○静岡市歴史博物館
 開館情報 : グランドオープン2023年1月13日(金)
 展示内容 : 開館記念企画展として2023年1月13日(金)～2月26日(日)まで、「徳川家康と駿府」開催 その他常設展等
 アクセス等 : 静岡市葵区追手町4-16 (静岡駅からしずてつジャストラインバス又は徒歩)
 ホームページ : 「静岡市歴史博物館」公式サイト
 (URL : <https://scmh.jp/>) →



ふじのくに領事館 編集後記

「ふじのくに領事館」は関西圏における地域外交の拠点として、外国の総領事館との連携強化や静岡県に関する情報発信を行っています。毎年、今頃の時期になると、重要な行事のご案内を各国の総領事館などに差し上げるのですが、気を付けなくてはいけないのが「旧正月」です。今年の中国における旧正月は新暦の1月22日であり、中国のほか、韓国・ベトナムなどの国々がこの日前後は「お休み」となります。ところが、旧正月の日付は新暦では毎年変化する(2024年は2月10日)ため、行事の企画や案内をする際には、相手国の休日期間への配慮が必要です。日本ではなじみが薄い旧正月ですが、アジアからの来客が大幅に増える時期として、これまでよりは意識することが増えていくでしょう。私も、ついこの前、新年の誓いを立てたばかりですが、旧正月を機会に改めて東アジアについて、文化や歴史など様々な知識を深めようと思います。

《皆様からのご意見、ご感想、関西地域での新しい静岡情報をお待ちしております。》 領事(所長) 石ヶ谷彰英

